

寒川文書館だより

Vol. 21



寒川町家屋名入地図 (昭和40年、当館蔵)

■ 第21号目次 ■

資料紹介「寒川町家屋名入地図」	2
文書館活用講座／ミニ展示	3
開館10周年記念事業	4
収蔵庫の資料から(7)	6
文書館最近のできごと	7

第21号
2017.3.31
寒川文書館

寒川町家屋名入地図

(寒川文書館蔵、藤井彰氏旧蔵)

住宅地図とは、大きな縮尺で家屋の配置のわかる地図に、現地踏査によって調べた居住者名や企業名等を記入したものである。昭和27年(1952)に善隣出版社(現(株)ゼンリン)が発行した大分県別府市の『別府市住宅案内図』がその嚆矢とされており、行政事務に、不動産業に、物資の輸送や配達に、自治会など地域活動にと、私たちの暮らしのさまざまな場面で利用されている。

全国的にはゼンリン社がシェアを占めているが、神奈川県では藤沢市の明細地図社のものもよく利用されている。現在確認しうる寒川町域の最も古い地図も、昭和42年発行の明細地図である。当初は茅ヶ崎市版と合冊になっていたが、昭和51年版から寒川町単独で発行されるようになった。

しかし、その直前の昭和40年8月、縮尺や方角など地図の基本にとらわれないユニークな住宅地図が出版された。それが「寒川町家屋名入地図」である。A3判両面に青焼き印刷した31枚を横綴じにしたものである。

表紙をめくると、目次に続いて「寒川部落考」というページに、大字ごとの歴史や地名の由来などが記されている。団地や集合住宅の情報が9ページ続いたあと、地区ごとに住宅の並ぶ様子を24ページにわたって載せている。住宅の図には番地、世帯主、電電公社と農協有線電話の番号などが書き込まれている。特に倉見は土地改良によりほとんどの番地が振り直されているが、この地図には新旧の番地が記してあるため、対比をみるのに便利である。

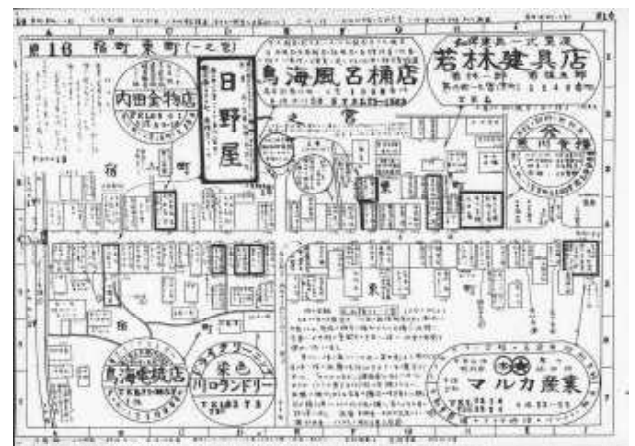
この地図の最大の特徴は、各ページの余白に地域の詳細な情報が描き込まれている点である。た

とえば一之宮の宿町・東町のページでは、欄外に「入沢知周 初代村長で初代県会議員」「広田孝基 15代・16代・17代村長 初代町長」などと、その地区出身の人物紹介があるほか、「大山詣りと一之宮」の解説、この地域を詠んだ俳句や歌、商店の広告など、地域情報が所狭しと並んでいる。巻末には町の沿革、歴代町村長一覧、神社仏閣の一覧、伝説や史話など、とにかく情報量が多く、50年以上前の寒川の姿がいきいきとよみがえってくる。

奥付をみると、この地図を編集・出版したのは茅ヶ崎市香川在住で「伝記と人物研究所」を主宰した可児正弘という人物であることがわかる。昭和7年早大政経学部卒とあり、俳号や香道・茶道・尺八などの雅号も記されている。また既刊分として、小田原市、平塚市、藤沢市、旧大磯町、旧国府町、二宮町、橘町のものもあるというが、まだ他市町のもののは発見できていない。

可児がこうした活動を始めた背景や動機は何か、豊富な情報をどのように調査し、どのようにまとめ上げたのか、経費はどう捻出していたのかなど、未解明な部分はあまりに多い。今後もさらなる研究を進めたい。

(高木秀彰)



「寒川町家屋名入地図」一之宮宿町・東町のページ

文書館活用講座を開講

平成28年11月から29年2月にかけて「文書館活用講座」を開講しました。文書館で保存している多彩な資料をどのように使えば良いのか。そのコツを伝授する4回連続の講座です。2シーズン目となる今回は、ワークショップあり、特別講師の講義ありと、バラエティーに富んだ内容となりました。



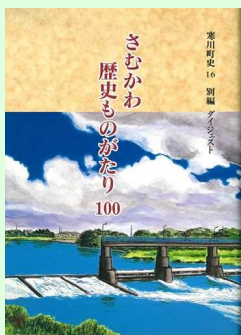
第1回 「文書館って何だ？」

町史編さん事業と寒川文書館

(11月26日)

一般的な公文書館の役割について解説したのち、寒川文書館の成立までの経緯や、その母体となった町史編さん事業について説明しました。

◀寒川町史ダイジェスト



第2回 「行政刊行物を使う」(12月17日)

行政刊行物の収集、整理の方法、検索のしかた、ラベルの見方などを説明したあと、2人1組になって、「南小学校の校名の由来は？」などの設問に回答を見つけ出すワークショップを実施しました。

◀広報さむかわ縮刷版



第3回 「仏像資料について—佐藤昭夫氏資料から—」

(1月28日)

元町史編集委員・佐藤昭夫氏の研究資料を整理して下さっている地崎広さん・岡本穎子さんを特別講師に迎え、国内の有名な作品や、町内各寺院の仏像を解説していただきました。

◀安楽寺大日如来坐像



第4回 「写真資料の保存と活用」(2月25日)

フィルムの種類やプリントのサイズなど写真の基礎情報の他、収集・整理の方法、閲覧や検索の方法、特徴的な資料群、活用の事例など、写真にまつわるさまざまな情報をお伝えしました。

◀APSフィルム



神史協研修会を開催



神奈川県歴史資料取扱機関連絡協議会(神史協)は、県内の公文書館や自治体史編さん担当など21機関が集まり、資料保存の実務などを研鑽しています。その研修会が平成29年1月13日、寒川を会場に開かれました。「寒川文書館10年のとりくみ」と題し、開館までの経緯、10年間の活動、図書館との複合館であることのメリットなどについて報告しました。終了後、施設見学を行い、開架書架、収蔵庫などを丁寧に見ていただきました。

おかげさまで10周年

平成18年11月3日に開館した寒川総合図書館と寒川文書館は、おかげさまで10周年を迎えることができました。これを記念して、両館でさまざまな事業が展開されました。両館の共催で実施する事業や、単独でそれぞれ行う事業など、10種類以上に及ぶイベントを実施しました。このコーナーでは、文書館が独自に実施した事業と、両館の共催事業を中心にご紹介します。



10周年シンボルマーク

シンポジウム「アーカイブズでできる先祖調べ ーファミリーヒストリーのススメー」

「先祖調べ」をキーワードに、アーカイブズ（公文書館）資料の普及を考えるシンポジウムを開催し、先祖調べの実例などについて、4人の報告者にお話しいただきました。当日は60名の皆さんがご来場くださり、このテーマについて関心の高さが窺えました。

森本祥子氏（東京大学准教授）

「日本のアーカイブズで家系調査は可能か」

諸外国で一般的な先祖調べの事例と、東京大学文書館におけるレファレンスや個人情報保護についてお話しいただきました。



森本祥子氏▶

圭室文雄氏（明治大学名誉教授・寒川町史編集委員）

「江戸時代寒川町域の苗字について」

寒川文書館で公開している史料で最も閲覧頻度が高い高野山高室院文書の調査概要と、そこからみえる庶民の苗字について解説していただきました。



◀圭室文雄氏

長佐古美奈子氏（学習院大学史料館）

「あなたの先祖が華族だったら」

『旧華族家史料所在調査報告書』や『男爵物語』の編集の経験を通じて、家系調査の手法や成果について紹介していただきました。



長佐古美奈子氏▶

越原啓介氏（寒川文書館利用者）

「私の先祖調べ」

戸籍や古文書などを駆使して自らの先祖を何代にもさかのぼって調べた実践レポート。研究者でない人が調査を行う際のお手本となる報告でした。



◀越原啓介氏

共催

企画展 図書館・文書館 10年のあゆみ



会期：平成28年10月1日～29年2月28日

図書館・文書館の10年間のあゆみを、さまざまな角度から記録資料や写真を使って紹介しました。採用されなかった設計図、開館時に作成されたポスターや記念品、グラフで見る両館のあゆみ、「わくわく読書マラソン」で配布した手作りグッズなど、両館の足跡を示す資料を多くの皆さんに見ていただくことができました。

共催

映像上映会「図書館・文書館ができたころ」

平成28年11月3日開催

毎年の開館記念日に、両館の共催事業として「懐かし映像上映会」を開催しています。今年は10周年を記念して、かつてケーブルテレビで放映された町の広報番組から、開館準備、開館記念などの動画をご覧いただきました。併せて、県の広報ビデオから、県立公文書館開館時や、県立図書館開館50周年記念の映像も見ていただきました。



広報番組
「町の新しい文化拠点 総合図書館・文書館」

図書館のイベント一覧

○企画展「本が好き」

10月25日(火)～11月23日(水)

○ジュニア司書認定式

11月3日(木)

○はじめての製本講座

「文庫本型ノートづくり」 10月29日(火)

講師：林久美子さん（「本と箱の教室きとき」講師）

○記念講演会

「家読のすすめ～家族で楽しむ読書のスタイル～」

11月3日(木)

講師：佐川二亮さん（家読推進プロジェクト代表）

○お祝い福袋 11月3日(木)～6日(日)

テーマに合わせて選んだ3冊を福袋にして貸し出し

○出前二人芝居「宮沢賢治童話集」

11月12日(土)

演目：注文の多い料理店、セロ弾きのゴーシュ

○図書館コンサート 11月3日(木)

出演：木管アンサンブル「木音」

出演：さわたり組

収蔵庫の資料から (7)

文書館の収蔵庫には、皆様から寄贈や寄託していただいた貴重な記録資料や写真をはじめ、寒川の歴史を物語るさまざまな資料を保存しています。今回もその一端をご紹介します。いずれも閲覧できますので、ご希望の方は気軽にカウンターにお申し出ください。

一之宮西町年番文書 (寄託)



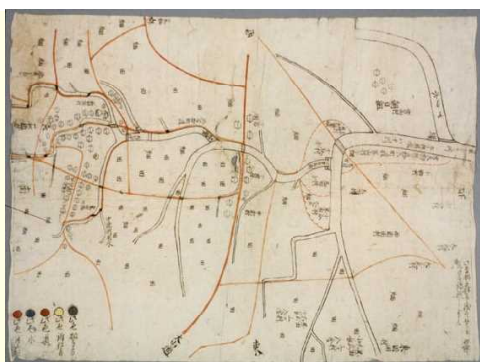
一之宮西町の共有文書です。同町集会所(旧薬師堂)に安置してありましたが、平成29年1月に寄託となりました。昭和5年から32年まで、全部で30点ありました。昭和5年の「町規」は町内の運営方法を定めたもの。他に天満宮の祭礼の記録などが多く残されています。

宮山下町総代文書 (寄託)



宮山下町の共有文書で、同町集会所の屋根裏にあったものを、平成27年に寄託していただきました。慶応2年(1866)の銘の入った木箱に安政4年(1857)から昭和61年まで、祭礼の記録を中心に239点が入っています。明治初年に宮山にも屋台があったことを示す記録が含まれています。

鈴木喜明家文書 (写真版の閲覧)



花川用水絵図

茅ヶ崎市萩園の鈴木家は80点あまりの古文書を所蔵しています。町史編さんのため、このうち花川用水、相模川、寒川の俳諧関係など史料7点を撮影させていただきました。特に2枚の花川用水の絵図は、たびたび刊行物や展示で利用させていただいていますが、このたび閲覧についてもご承諾いただきました。

大澤リウ氏写真 (写真の閲覧)



改良かまどや電気炊飯器の導入された台所

(昭和30年代)

大澤さんは昭和24年から神奈川県生活改善普及員として、寒川の農家の生活向上の指導にあたってきました。その活動を記録した写真28枚が閲覧できるようになりました。かまどの改良、調理実習、農業青年団体の指導など、当時の農家の生活の様子がわかる貴重な記録です。

文書館 最近のできごと

■多久市議会の視察 10月5日(水)



佐賀県多久市議会の総務文教委員会の皆さんが視察に来館しました。多久市は、図書館司書だった細川章氏を中心に、昭和30年代から古文書の調査研究が行われ、昭和50年代には「多久古文書の村」が結成されて資料保存運動が進められたことで知られています。その成果を後世につなげる方策について、市として検討を始めたとのことで、当館の資料の保存と利用のあり方について説明いたしました。

■東海大学講演会 10月22日(土)



東海大学文学部歴史学科日本史専攻主催の講演会「地域の歴史を掘り起こす」の一環として、「相模海軍工廠の調査について―聞き書き調査の手法と成果―」という講演に出講しました。寒川町史編さん事業においては、記録資料の乏しい相模海軍工廠の全貌を明らかにしようと、働いていた方に体験談を伺うという調査を、長期にわたって実施しました。その手法と成果についてお話ししました。

■寒川東中学校職場体験学習 12月1日(木)



寒川東中学校2年生3名の生徒が、文書館で職場体験学習を行いました。まず施設見学をしながら、文書館の役割や日常の仕事について説明したあと、マイクロフィルムの保管キャビネットのガス吸着シートの交換、マイクロフィルムの巻き替え作業など、資料の保存にかかわる作業に取り組んでもらいました。事後に寄せられた感想では、普段入れないバックヤードでの作業に感激したことなどが書かれていました。

■東京学芸大学施設見学 12月4日(日)



東京学芸大学の「博物館資料保存論」という授業の一環として、15名の学生が施設見学に来館しました。まず公文書館の役割や地方公文書館の設置状況、寒川文書館の活動などについて概要をお話したあと、実際に収蔵庫などを見学してもらいました。この授業のテーマともからめ、収蔵庫内の温湿度、マイクロフィルムの管理などについて詳しく説明したところ、熱心に質問をする学生が多かったのが印象的でした。

今後の事業予定

■開催中の展示

第24回企画展

「地図の愉しみー村絵図から電子地図までー」

地図は文字資料以上に地域の情報を雄弁に語ってくれます。これらを使いこなすことで、過去のそして現在の地域や人々の姿を読み解くことができます。この展示では、航空写真、江戸期や明治期の絵図、地形図、住宅地図などさまざまな地図をご紹介します。

会期：平成29年3月11日(土)～6月4日(日)

■新刊のお知らせ

『寒川町史調査報告書』22 「寒川のマッチラベルー三枝惣治氏コレクションー」



マッチは昭和50年代まで広告媒体として大変有効なアイテムでした。岡田の三枝惣治さんは、その箱6,500枚あまりを収集しました。このうち寒川の商店などのマッチ箱460枚をカラーで紹介します。

*5月1日より頒布開始

*1冊500円

■平成29年度前半の事業予定

平成29年度前半は次の事業を実施する予定です。日時、会場、申込み方法など、詳しくは「広報さむかわ」、文書館のホームページ、チラシなどをご覧ください。

○古文書講座(全6回。5～10月の第3土曜)

*今年は第3土曜で実施します。ご注意ください。

○茅ヶ崎市・寒川町広域連携事業企画展「1947年の寒川(仮称)」(7月～9月)

編集後記

「寒川文書館だより」第21号をお届けします。

寒川文書館は平成28年11月、寒川総合図書館とともに開館10周年を迎えることができました。利用者をはじめ、資料所蔵者、ボランティアなど、多くの皆さまに支えられてこれまで活動することができました。これからも地域の情報拠点として、資料の収集・保存・整理に努め、わかりやすく資料を提供してまいります。引き続きご協力のほど、お願い申し上げます。

利用案内

■開館時間

火曜～金曜日 午前9時～午後7時
土・日・祝日 午前9時～午後5時

■休館日

月曜日(国民の祝日にあたる場合は開館)
年末年始(12月29日～1月3日)
特別整理日(決まり次第お知らせします)

■交通のご案内

JR相模線 寒川駅下車 徒歩10分

寒川町コミュニティバス・

神奈中・相鉄バス 海老名駅～寒川駅線

「図書館文書館前」下車 徒歩1分

※なるべく公共交通機関か自転車、徒歩でお越しください。



寒川文書館だより 第21号

平成29年3月31日

編集・発行/寒川文書館

〒253-0106 神奈川県高座郡寒川町宮山135-1

TEL 0467-75-3691 FAX 0467-75-3758

ホームページ <http://www.lib-arc.samukawa.kanagawa.jp>

電子メール bunshokan@town.samukawa.kanagawa.jp